

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | | 個性の理解・尊重ができて、各個人の望む生活に少しでも近づけるようにしたい。 | 利用者の思いに沿った支援を行い、個別ケアを充実させて、その人らしく生活できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の言動の奥にある思いを汲む事を意識して訓練するようにする。また、何か気づけば申し送り等で共有するようにする。 ・出先等で、「これ好き」「そこ行ってみたい」等の言葉や表情が見受けられた際は、その時に実施するか、今後の行動や支援に活かす。 ・不快な事には迅速に共感・解消に努め、楽しい気分を共有して良い状態を作る。 ・各個人の今の“得意”や長所に着目し、そこにかかわったりしかけられるようにする。 ・利用者相互のかかわりには、黒子として事故やトラブルなく円滑・円満に進むように、見守りと、必要に応じた介入を行う。 | 6ヶ月 |
| 2 | | 家族・来客に安心して来てもらいたい。 | 家族や地域の方々との信頼関係を保つ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしの気持ちを込めて、笑顔で率先して挨拶をする。 ・キーパーソンの方には、まめに近況をお伝えする。 ・居室を特にきれいに掃除する。(利用者と一緒に掃除する。/各居室の清掃整頓担当職員を割り振る。) ・ごみが落ちていたら、すぐに拾う。 ・利用者の身だしなみや、身の回りのきれいを支援する。 ・地域行事、イベント、ふれあい喫茶への参加を絶やさない。 | 6ヶ月 |
| 3 | | 楽しみ事の時も、家事の時も、くつろぎの時もそれぞれ快くして頂ける事を追求したい。 | 人生で、幸せを味わうのに最も重要な時期の一つである高齢期を大事に生きて頂く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活、外出時、イベントの時等、利用者ひとりひとりの表情や言動をよく見て、声をかけたり、傍に寄り添ったりする。 ・職員単独の業務をスピーディーに行い、かかわりや利用者と一緒に業務に費やせる時間を作る。 ・否定や強制をしない、受容や共感からかかわる等の介護の基本を忠実に行う。 | 6ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。